

一 相尾大明神

丹二之巻京田組の下に江戸傳れハ略之社
地水の方に延陀堂ありち嘉永元年の戸場之
ち嘉永山の戸を坊と改めといふ社嘉永仕の
戸ハ本社の前であり七人組歌を詠して其
歌の中に社職の歌あり姓の下に姓名の二
字を書類にハ 勅許の号之王法を志しに
根よ稱するハ演習安事之

一 福荷大明神

伊豫屋の積ちなり享保年中歌より宗

源宣旨ありて正一位を授くる七人歌を正
一位福荷と云と書て多き所ハ并王法を志
し歌を安事之 尚邑に詩文章を好む人多
あれは正史の事ハ未熟なりて正法の事
多くあり

一 松倉山馬頭觀音

古ハ桶山の南松倉といふ所にあり其代本
所の内ハ近きなる唐仏と云傳へり別當源
驗主代醫家となり其代何系と稱せ其安
二年山寺公事の出付に中ふ事ハ松倉の所澤ハ